

東京都看護人材実態調査 (従事者：看護職員編)

調査票回答に当たってのお願い

- 本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2030年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。
 - 回答に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、回答してください。
 - 回答方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
- 【調査委託会社】東京都ビジネスサービス株式会社** (担当者：栗山、西)
電話番号：03(6426)0426
電子メールアドレス：tokyo-kango-chosa@tokyotobs.com
- ご回答いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、**令和6年10月31日(木曜日)までに**投函してください。(切手は不要です。)
 - 本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

- 本調査は、看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)※及び看護補助者に関して行うものです。※看護学生含む
- 特に指定のない項目は令和6年9月1日現在で記入してください
- 選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。
- 質問の前に特段の断りがない場合は、すべての方に回答いただきます。

調査実施機関：  東京都保健医療局医療政策部医療人材課

【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

● **雇用形態**

- ・ 正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- ・ 非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

● **勤務形態**

- ・ 常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（＝フルタイム勤務者）
ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。
- ・ 非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1 あなたの性別を回答してください。

- ① 女
② 男
③ その他

回 答

問2 あなたの年齢について、該当する番号を回答してください。

- ① 19歳以下 ⑤ 35歳～39歳 ⑨ 55歳～59歳
② 20歳～24歳 ⑥ 40歳～44歳 ⑩ 60歳～64歳
③ 25歳～29歳 ⑦ 45歳～49歳 ⑪ 65歳～69歳
④ 30歳～34歳 ⑧ 50歳～54歳 ⑫ 70歳以上

回 答

問3 あなたの家族構成について、それぞれ該当する方に○を付けてください。また、「あり」の場合は、人数も記入してください。

	あり	人数	なし
配偶者			
子ども（未就学児）			
子ども（小学生）			
介護を要する者			

問4 あなたが持っている免許は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 保健師	② 助産師	③ 看護師	④ 准看護師

問5 あなたが現在従事している職種は、次のうちどれですか。

- ① 保健師
- ② 助産師
- ③ 看護師
- ④ 准看護師

回 答

問6 あなたの現在の職場は、次のうちどれですか。

- ① 病院（500 床以上）
 - ② 病院（200 床以上 500 床未満）
 - ③ 病院（200 床未満）
 - ④ 有床診療所
 - ⑤ 無床診療所
 - ⑥ 助産所
 - ⑦ 訪問看護ステーション
 - ⑧ 介護老人保健施設
 - ⑨ 介護医療院
 - ⑩ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
 - ⑪ 有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設
 - ⑫ 居宅サービス事業所（⑦、⑬以外）
 - ⑬ 看護小規模多機能型居宅介護事業所
 - ⑭ 行政機関（保健所、区市町村）
 - ⑮ その他（具体的に：

→問 6－1へ

回 答

【問6で①～③「病院」と回答した場合に、お答えください。】

問6-1 勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

- ① 急性期中心
- ② 回復期中心
- ③ 慢性期中心
- ④ 精神科病院
- ⑤ ①～④以外の病院

回答

問7 あなたの雇用形態・勤務状況は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 正規雇用（フルタイム）
- ② 正規雇用（短時間）
- ③ 非正規雇用（フルタイム）
- ④ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週5日以上勤務
- ⑤ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週3～4日勤務
- ⑥ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週1～2日勤務
- ⑦ その他（具体的に： _____）

回 答

問8 あなたの夜間の業務について、最も当てはまるものを選択してください。

- ① 夜間の勤務はない職場で働いている
- ② 夜勤を免除されている
- ③ 夜勤がある
- ④ 夜勤専従である
- ⑤ 当直がある
- ⑥ オンコール等の緊急時当番がある

回 答

※ 夜勤とは、夜から翌朝までの勤務をいう。
※ 夜勤は法定労働時間内の勤務、当直は法定労働時間外の待機業務を指す。

問9 あなたの現在の職場内の職位は、次のうちどれですか。

- ① 管理者（管理職クラス）
- ② 看護師長（監督者クラス）
- ③ 一般（看護師長を補佐する中間管理者クラス・副看護師長・主任など）
- ④ 一般（一般クラス）
- ⑤ その他（具体的に： _____）

回 答

問10 あなたのラダーレベルについて、最も当てはまるものを選択してください。

- ① レベルⅠ（基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する）
- ② レベルⅡ（標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する）
- ③ レベルⅢ（ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する）
- ④ レベルⅣ（幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する）
- ⑤ レベルⅤ（より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する）
- ⑥ わからない

回 答

※ラダーレベルは JNA ラダーの看護実践能力を参照しています。看護師以外の職種の方はこれに準じて選択してください。

「あなたの職歴」についてお聞きします（看護職員としての職歴に限ります）

問 11 看護職員として、通算して何年働いていますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 1 年未満 | ⑤ 10 年以上 15 年未満 |
| ② 1 年以上 3 年未満 | ⑥ 15 年以上 20 年未満 |
| ③ 3 年以上 5 年未満 | ⑦ 20 年以上 |
| ④ 5 年以上 10 年未満 | |

回 答

問 12 今の職場で何年働いていますか。（同一法人内で異動したときは、通算した在籍期間としてください。）

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 1 年未満 | ⑤ 10 年以上 15 年未満 |
| ② 1 年以上 3 年未満 | ⑥ 15 年以上 20 年未満 |
| ③ 3 年以上 5 年未満 | ⑦ 20 年以上 |
| ④ 5 年以上 10 年未満 | |

回 答

問 13 看護職場を退職した経験がありますか。

- | |
|-----------------------|
| ① 退職したことがある （→問 13－1） |
| ② 退職したことはない （→問 14 へ） |

回 答

【問 13 で「① 退職したことがある」と回答した場合に、問 13－1 ～ 5 までお答えください。】

問 13－1 看護職員として働き始めて、今の施設は何か所目ですか。（同一法人内で異動したときは、1 つの職場とみなしてください。）

--

か所目

問 13－2 退職時、次の勤務先は決まっていたか。

- | |
|-------|
| ① はい |
| ② いいえ |

回 答

問 13－3 前職場の退職理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位3つまでを選択してください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ① 転居 | ⑭ 職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む。） |
| ② 出産・育児 | ⑮ 職場の医療・看護の質・内容への不満 |
| ③ 自身の健康状況 | ⑯ 経済的に働かなくてもよくなった |
| ④ 家族の健康・介護状況 | ⑰ 進学 |
| ⑤ 看護の知識・技術への不安、責任の重さ | ⑱ 定年 |
| ⑥ 看護に魅力を感じなくなった | ⑲ その他（具体的に： _____ ） |
| ⑦ 看護以外にやりたいことがあった | |
| ⑧ 看護職として新たな経験を積みたかった | |
| ⑨ 業務多忙・労働（拘束）時間が長い | |
| ⑩ 不規則勤務・夜勤が体力的につらい | |
| ⑪ 勤務条件への不満（給与・福利厚生等） | |
| ⑫ 待遇への不満（キャリアアップの機会がない等） | |
| ⑬ 休暇を取得しにくい | |

回答	
第1順位	
第2順位	
第3順位	

【問 13－3 で「⑭職場の人間関係」と回答した場合に、お答えください。】

問 13－4 職場の人間関係のうち、当てはまるものを選択してください。

- | |
|-------------------------------|
| ① パワーハラスメント |
| ② セクシャルハラスメント |
| ③ 妊娠・出産・育児休業等ハラスメント |
| ④ 介護休業等ハラスメント |
| ⑤ 利用者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント） |
| ⑥ その他（具体的に： _____ ） |

回 答

問 13-5 今の職場を探す際、利用したものをすべて選択し、○を付けてください。また、最終的に転職先を見つけたものを1つ選択し、○を付けてください。

	回答	
	利用したもの	最終的に転職先 を見つけたもの
① ナースバンク		
② ハローワーク		
③ 人材派遣会社		
④ 有料職業紹介会社（看護師転職サイト等）		
⑤ 新聞折り込み広告		
⑥ 電車内や駅等に貼られた広告		
⑦ 求人雑誌、医療・看護系雑誌		
⑧ 施設のホームページ		
⑨ SNS →最も活用しているものに○をつけてください。(X(旧 Twitter)・Facebook・ Instagram・Youtube)		
⑩ 知人の紹介、口コミ		
⑪ その他（具体的に： ）		

問 14 今の職場を選んだ理由について、当てはまるものを上位3つまで選択してください。

- ① 希望する看護ができる
- ② 興味のある分野、施設である
- ③ 新たな経験を積める
- ④ 通勤時間（片道： 分）
- ⑤ 勤務時間が希望と合致している
- ⑥ 超過勤務が少ない
- ⑦ 夜勤がない
- ⑧ 給与が希望と合致している
- ⑨ 福利厚生が充実している
- ⑩ 休暇を取得しやすい
- ⑪ 育児・介護等の支援制度が充実している
- ⑫ 研修・教育体制が充実している
- ⑬ キャリアアップ・昇任の機会がある
- ⑭ 職場の雰囲気が良い
- ⑮ その他（具体的に： ）

回答	
第1順位	
第2順位	
第3順位	

「看護補助者との協働」についてお聞きします

問 15 あなたの職場で看護補助者は働いていますか。

- ① はい
② いいえ （→問 18 へ）

回 答

問 16 あなたが看護補助者と働く上で感じる課題として、当てはまるものを全てお答えください。なお、採用して1年以内の方をイメージしてお答えください。

選択項目	回答
① 看護補助者の知識や技術面に不安があり、安心して任せられない業務がある。	
② 看護補助者に対する効果的な指示出しの方法がわからない。	
③ 看護補助者の個々の能力に差があるため、看護補助者のスキルを見極めて業務を依頼するのが難しい。	
④ 看護補助者向けの研修や教育体制が整っていない。	
⑤ 看護補助者の業務内容や手順が明確でない。	
⑥ その他（具体的に： ）	
⑦ 特になし	

問 17 あなたが看護補助者と協働するために必要と感じる研修について、当てはまるものを全てお答えください。

選択項目	回答
① 看護補助者を対象とした、知識の習得を目的とした座学中心の研修	
② 看護補助者を対象とした、技術の習得を目的とした演習中心の研修	
③ 看護職員を対象とした、看護補助者との協働に向けた研修 （グループワークを通じた好事例の共有や、課題解決に向けた事例 検討等）	
④ その他（具体的に： ）	
⑤ 特になし	

「看護職員として働くこと」についてお聞きします

問 18 6 年後（2030 年）、あなたはどのようにしていますか。最も近いものを選択してください。

- ① 今の職場で働いている（法人内の異動を含む）（→問 18－4 へ）
- ② 今と同じ施設種別の職場に転職して、看護職として働いている（→問 18－1 へ）
- ③ 今と異なる施設種別の職場に転職して、看護職として働いている（→問 18－2 へ）
- ④ 看護分野で進学している（→問 18－4 へ）
- ⑤ 看護職は辞めている（→問 18－5 へ）

回 答

【問 18 で「② 今と同じ施設種別の職場に転職して、看護職として働いている」と回答した場合にお答えください。】

問 18－1 転職して働きたい理由を 1 つ選択してください。

- ① いろいろな職場を経験したいから
- ② スキルアップしたいから
- ③ 昇任機会のある職場で働きたいから
- ④ 給与や福利厚生の良い職場で働きたいから
- ⑤ その他（具体的に：

→問 18－4 へ

回 答

【問 18 で「③ 今と異なる施設種別の職場に転職して、看護職として働いている」と回答した場合に問 18-2、問 18-3 にお答えください。】

問 18-2 6年後（2030年）、どの施設へ転職していると思いますか。

- | |
|-----|
| 回 答 |
| |

 - ① 病院（急性期中心）
 - ② 病院（回復期中心）
 - ③ 病院（慢性期中心）
 - ④ 精神科病院
 - ⑤ 有床診療所
 - ⑥ 無床診療所
 - ⑦ 助産所
 - ⑧ 訪問看護ステーション
 - ⑨ 介護医療院
 - ⑩ 高齢者施設・居宅サービス事業所等
 - ⑪ 障害者支援施設
 - ⑫ 児童福祉施設
 - ⑬ 行政機関（保健所、子供家庭支援センター、地域包括支援センター等）
 - ⑭ 大学・養成所等の教育機関
 - ⑮ その他（具体的に：

問 18-3 今と異なる施設種別の職場で働きたい理由を1つ選択してください。

- ① いろいろな職場を経験したいから
 - ② スキルアップしたいから
 - ③ 昇任機会のある職場で働きたいから
 - ④ 給与や福利厚生の良い職場で働きたいから
 - ⑤ その他（具体的に：

【問 18 で①～④を選択した場合にお答えください。】

問 18-4 今後、看護職員として働き続けるために、何を最も重視しますか。1つ選択してください。

- | | |
|---|---|
| ① 給与や福利厚生
② 職場内の人間関係
③ 希望の時間で働ける・勤務時間に自由度がある
④ 看護理念、看護の内容
⑤ スキルアップ、研修体制
⑥ 定年退職後の雇用制度
⑦ 通勤が便利
⑧ その他（具体的に： | 回 答

 |
|---|---|

【問 18 で「⑤ 看護職は辞めている」を選択した場合にお答えください。】

問 18-5 6 年後 (2030 年)、看護職を辞めていると思う理由を 1 つ選択してください。

- 回　答
-
- (1) 出産・育児
 (2) 家族の介護
 (3) 不規則勤務、夜勤がつらいから
 (4) 休みが思うように取れないから
 (5) 労働時間（拘束時間）が長いから
 (6) 今回の待遇（給与等）では続けていけないから
 (7) ストレスが大きいため
 (8) 体力的につらいから
 (9) 新しい知識・技術についていけないから
 (10) 看護業務に魅力を感じられないから
 (11) 看護以外にやりたいことがあるから
 (12) 経済的に就業する必要がないから
 (13) 定年
 (14) その他（具体的に：

回 答

あなたのキャリアプランについてお聞きします

問 19 あなたの資格についてお尋ねします。①～⑨の専門資格をお持ちの方は、現在の活用状況を選択し、○を付けてください。お持ちでない方は今後取得を検討している専門資格を選択し、○をつけてください。准看護師の方は看護師の資格取得を検討している場合に○をつけてください。

	活用できている	活用できていない	取得を検討している
① 認定看護師			
② 専門看護師			
③ 特定行為研修修了			
④ 認定看護管理者			
⑤ アドバンス助産師			
⑥ 診療看護師（NP）			
⑦ 災害支援ナース			
⑧ DMAT			
⑨ 看護師			
⑩ その他（ ）			

【問 19 で専門資格を「活用できていない」と回答した場合に、お答えください。】

問 19－1 専門資格を活用できていない理由として、当てはまるものをお答えください。

選択項目	回答
① 管理者の理解を得られないため。	
② 施設内で運用体制が整備されていないため。	
③ 活用できない部署・施設へ配属されたため。	
④ 看護技術や知識に不安があるため。	
⑤ 資格を保有していることを勤務先に伝えていないため。	
⑥ 専門資格に対する評価処遇・手当がない	
⑦ その他 ()	

【問 19 で、「⑦災害支援ナース」、「⑧DMAT」の資格がなく、取得も検討していないと回答した場合に、お答えください。】

問 19－2 災害時派遣にあたり、懸念事項として当てはまるものをお答えください。

選択項目	回答
① 技術面の不安	
② 従事先での業務があり、代替できる人員体制がない。	
③ 家庭の事情等で、長期間または遠方の派遣ができない。	
④ 派遣期間中の手当	
⑤ 派遣先での負傷や感染症罹患等の懸念	
⑥ その他 ()	

問 20 定年退職後に働きたいと考えていますか。

- ① 働く
- ② 働かない

回 答

--

【問 20 で「① 働く」を選択した場合にお答えください。】

問 20－1 定年退職後に働きたい施設は、次のうちどれですか。

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| ① 病院（急性期中心） | ⑩ 高齢者施設・居宅サービス事業所等 |
| ② 病院（回復期中心） | ⑪ 障害者支援施設 |
| ③ 病院（慢性期中心） | ⑫ 児童福祉施設 |
| ④ 精神科病院 | ⑬ 行政機関（保健所、子供家庭支援センター、地域包括支援センター等） |
| ⑤ 有床診療所 | ⑭ 大学・養成所等の教育機関 |
| ⑥ 無床診療所 | ⑮ その他（具体的に： _____） |

⑦ 助産所

⑧ 訪問看護ステーション

⑨ 介護医療院



①～⑬を選択した場合 → 問 20－2 ～ 問 20－4 へ
⑭、⑮を選択した場合 → 問 21 へ

回 答

【問 20－1 で①～⑫を選択した場合にお答えください。】

問 20－2 定年退職後に希望する雇用形態は、次のうちどれですか。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 常勤（フルタイム） | |
| ② 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） | 週 5 日以上勤務 |
| ③ 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） | 週 3 ～ 4 日勤務 |
| ④ 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） | 週 1 ～ 2 日勤務 |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

回 答

問 20－3 定年退職後に働く場合の給与の額は、いくらぐらいになると想定していますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 200 万円未満 | ⑤ 350 万円～400 万円未満 |
| ② 200 万円～250 万円未満 | ⑥ 400 万円～450 万円未満 |
| ③ 250 万円～300 万円未満 | ⑦ 450 万円～500 万円未満 |
| ④ 300 万円～350 万円未満 | ⑧ 500 万円以上 |

回 答

問 20－4 定年退職後に働く場合、夜勤は行えますか。

- | |
|--------------------|
| ① 夜勤専従でもよい |
| ② 月 8 回までできる |
| ③ 週 1 程度までできる |
| ④ 月 2 回程度までならできる |
| ⑤ 月 1 回程度までならできる |
| ⑥ その他（具体的に： _____） |
| ⑦ できない |

回 答

【問 20 で「② 働かない」を選択した場合に、お答えください。】

問 20-5 定年退職後に働かない理由として当てはまるものをお答えください。

選択項目	回答
① 看護・介護等家庭の事情	
② 転居に伴う通勤困難による	
③ 自身の体力不足、体調不良、傷病等による	
④ 職場の原因（労働条件・労働環境・人間関係等の理由）	
⑤ 看護職以外へ転職予定	
⑥ 経済的に働く必要がなくなったことによる	
⑦ その他（具体的に： ）	

「その他のこと」についてお聞きします

問 21 退職したことがある方にお聞きします。東京都ナースプラザ事業のうち、知っているもの、利用したことがあるもの、役立ったものをすべて選択し、○を付けてください。

	知っている	利用したことがある	役立った
① 無料職業紹介所（ナースバンク）			
② ふれあいナースバンク（再就職相談会）			
③ 東京都ナースプラザで実施する再就業やスキルアップ、資質向上のための研修			
④ 地域の病院等で実施する無料の復職支援研修			

【問 21 の①～③における事業を利用したことのない場合にお答えください。】

問 21-1 利用したことがない理由を1つ選択してください。

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ① 知らない
② 関心がない
③ 希望に合致する施設の紹介がない
④ 場所（西新宿、立川）が不便
⑤ 夜間や日曜日に相談できない
⑥ 登録手続きが面倒
⑦ キャリアや年齢に応じた研修や施設の紹介がない
⑧ その他（具体的に： | 回 答

 |
|---|-------------------------------------|

回答

問 22 平成 27 年 10 月以降に退職したことがある方にお聞きます。平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりました。あなたはナースセンターへ届出を行いましたか。（看護師等免許保持者の届出制度）

- | | | | | |
|---|---|-----------|--|---|
| ① 自分で届け出た
② 退職した施設が代行して届け出た
③ 届け出ていない (→問 22-2 へ) | } | →問 22-1 へ | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">回 答</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div> |
|---|---|-----------|--|---|

回答

【問 22 で「① 自分で届け出た」または「② 退職した施設が代行して届け出た」と回答した場合にお答えください。】

問 22－1 再就職した際に、その旨を届け出ましたか。

- ① はい
② いいえ (→問 22-2へ)

回答

【問 22 で「③ 届け出ていない」または問 22-1 で「② いいえ」と回答した場合にお答えください。】

問 22-2 届けなかった理由は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 届出が必要だと知らなかった
- ② 失念していた
- ③ 届出を行うことが面倒
- ④ 届け出てもメリットがない
- ⑤ 届け出なくても不利益はない
- ⑥ その他（具体的に：_____）

問 23 看護職として働き続けるために期待する都の支援について、当てはまるものをお答えください。

	選 択 項 目	回 答
助言・相談等	① 教育体制・研修に関する助言・相談	
	② 業務改善好事例の紹介等の助言・相談	
	③ 職員募集・広報に関する助言・相談	
	④ 働きやすい職場づくりに関する助言・相談	
	⑤ 労務管理等に関し電話等で相談できる窓口	
	⑥ ハラスメントに対する助言・相談	
研修・資格取得支援	⑦ 新人看護職員の研修に対する支援	
	⑧ 中堅看護職員の研修に対する支援	
	⑨ ベテラン看護職員の研修に対する支援	
	⑩ 看護管理者向けの研修	
	⑪ 看護補助者の養成・育成のための支援	
	⑫ 離職中の看護職が復職する際の研修に対する支援	
	⑬ 専門資格取得のための支援	
	⑭ 特定行為研修受講のための支援	
	⑮ 准看護師に対する看護師資格取得のための支援	
その他	⑯ 多様な勤務形態の導入への取組に対する支援	
	⑰ ICT 機器の導入に向けた支援（DX 人材育成含む）	
	⑱ 院内保育・病児保育の支援	
	⑲ 職員の住宅確保のための支援	
	⑳ 施設間の人材交流のための支援	
	21 看護師の特定行為に係る指定研修機関への支援	
	22 その他（具体的に ）	

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

＜東京都からのお知らせ＞

東京都は、看護職員の養成・定着・資質向上・再就業等を目的に、様々な看護人材確保施策に取り組んでいます。

※詳細は、各リンクよりご覧ください。

（１）新規養成

- ・ 看護師等修学資金

（２）定着・資質向上

- ・ 東京都ナースプラザによる各種研修
- ・ 特定行為シンポジウム（看護師等キャリアアップ支援事業）
- ・ 助産師教育指導講習会

（３）再就業・定年後に向けた支援

- ・ 個別就職相談、就職相談会
- ・ 復職支援研修
- ・ プラチナナースセミナー、職場体験会（プラチナナース就業継続支援事業）
- ・ 就業・定着奨励金